こどもの森通信 秋季 第10号

発行日：2011 年 9 月 15 日
発行者：NPO 法人箕面こどもの森学園
562-0032 大阪府箕面市小野原西6-15-31
tel&fax 072-735-7676
e-mail kodomomori@nifty.com
URL http://kodomono-mori.com/

夏祭りと劇団アニマルズ公演

７月、恒例の子どもたちの企画による夏祭りをしました。「からだにやさしいお菓子屋さん」では、アレルギー対応のお菓子をつくって販売しました。マリオさがし、射的、ビー玉迷路、缶つり、１円玉落とし、ヨーヨー、スーパーボールすくいなどのお店を出しました。「マリオさがし」は、箱の中に、マリオのキャラクターが書かれた厚紙が入っていて、その裏に書かれた番号で景品がもらえます。キャラクターものなので人気がありました。昨年中止の「お化け屋敷」も復活しました。出し物を４人の子が何日もかけて作りました。整理券が配られるほどの人気ぶりでした。近所の方もたくさんきてくださり、大盛況でした。

夏祭りの後に、劇団アニマルズの初公演が行われました。「おつかい」という絵本をもとにした５分ほどの短い劇です。小さな女の子が、雨の日におかあさんにおつかいを頼まれるのですが、雨なので服がぬれるだの、もしも大水になったらどうしようだのと心配していると、猫やねずみたちがレインコートを着せたり、ボートを持ってきたりして、最後はしぶしぶ外へでてみたらすっかりお天気になっていましたとさ、というお話です。

この劇は６年生の女の子の呼びかけで始まり、すべて子どもたちだけで準備を進めてきました。舞台の両端につい立てを置き、裏方を見えないようにしたり、絵本を写真に撮りパワーポイントを使って背景にしたり、もともと３人しか出てこないお話に新しい役を作ってみんなが出演できるように考えたりと、お芝居のあちこちにいろんな工夫を凝らしていました。緊張して大きな声が出にくい子や、発表が苦手な子たちまでが、しっかりとお芝居していた姿に感動しました。（守安）

選択プログラム“科学と社会”

４月から高学年を中心に、「科学と社会」という選択プログラムが始まりました。科学や社会の分野で、小学生の間に伝えたい、あるいは中学での学習に備えてある程度の基礎知識を持っておいてほしいと思う内容を選び、担当スタッフがあらかじめ「こんなことをするよ」とアナウンスし、興味を持った子どもたちに集まってもらうプログラムです。

１学期は、科学分野では「地震のしくみ」、社会分野では「都道府県の名前を覚えよう」と「日本の歴史を知ろう」というテーマで、それぞれ３回シリーズの学習をしました。

興味を持って選択したテーマだけあって、子どもたちの集中度は高く、密度の濃い学習になりました。基礎知識を持つことをめざしてはいても、機械的な暗記に終始するのではなく、たとえば、「地震のしくみ」では地球の模型を作ったり、「都道府県の名前を覚えよう」では案内人になって楽しんだり、「日本の歴史を知ろう」では、絵や写真を見てみんなで話し合う時間をとったりしました。子どもたちにとって新しい発見や驚きのある学習となったことと思います。（田中）

６年生の長期プロジェクト

最終学年の６年生は「長期プロジェクト」に取り組みますが、今年は６年生が４人。それぞれ自分の興味関心のあることを担当スタッフと相談しながら進めています。

お城の歴史に興味をもっている子は、江戸の外食産業や身分による食事の差、飢饉など、江戸時代の人々の食生活について調べました。嵐（ジャニーズ）の大ファンの子は、嵐の活躍ぶりや魅力を伝えるエピソードについて調べました。三線（さんしん）を習っていて沖縄に興味ある子は、沖縄戦の集団自決について調べました。手芸の好きな子は、クロスステッチでクッションカバー作りをしました。

それぞれ調べたり、作ったりしたものは、研究発表会で学校のみんなに紹介されます。自分の興味・関心のあることをどうやって学校のみんなに伝えるのか、一人ひとりの子がその子↗なりに悩みながら取り組んでいます。長期プロジェクトを通して、子どもたちは、自分を表現するだけでなく、人に伝えたいことを伝え共感してもらうことの難しさや大切さ、伝わったときの充実感など、いろんなことを学んでいます。（藤田）

それぞれの全集経験を！

「多数決でなくみんなが納得する解決案を考えだす」こどもの森の全集（全校集会の略称）では、行事などの相談もしますが、学校で起こる様々な問題を解決する場でもあります。分からないけど聴きながら感じをつかんでいく低学年の子。イヤなことがあればとにかく全集に出して問題を解決しようとする子、人に譲歩してもらっても自分は譲歩できない子など、初めの一歩は人それぞれです。

全集ではいろんな意見が飛び交うので聴くのは大変です。「友達とのケンカを相手にも伝えず誰かにも相談しないでいきなり出してるけど、全集はそういうもんじゃないと思う」「人の悪いとこばっかり考えんと自分の悪かったとこを考えたらどうかな」「みんな何か違う方向に進んで行ってるみたい。最初に戻って考えてみたらどう」「少数派は意見を言うのに勇気がいるし気持もしんどい。そういうことを多数派は分かってあげてほしい」等々。ときには、自分の心の内で発言すべきことを整理して発言する子の声が入ります。

みんな真剣に参加してくれている全集も８年目になります。何を問題にし、何を大切にしていくべきかを気づかせてくれるのも子どもたちです。それぞれ考えも性格も違うみんなが一緒に話し合う中で、それぞれの自分というものが育っているように思います。（平嶋）

《自由作文紹介》

じてんしゃ

ちひろ

おかあさんとおとうさんにじてんしゃをかってもらった。

そのとき、あめがふっていたから、じてんしゃやさんのなかでれんしゅうをした。

ベージュいろのじてんしゃで、コマがついていた。

いまはヘルメットをかぶって、コマなしでのっている。

さかをのぼったり、くだったりしている。

ツバメがすづくりをしていた

あや

学校にいくとちゅう、いしばしのしょうてんがいのケーキやさんのやねのはしっこで、ツバメのつがいがすをつくっていた。

まだ、ちょっとしかできていなかった。

「もうすぐ、ひなが生まれたひなが見えるな〜」って思った。

エスペラント大会のこと

ふうこ

6 月 18 日、19 日とエスペラント大会が神戸であった。そこで朗読大会があるから、それに出るためにアンデルセンの「はだかの王様」を練習してきた。久しぶりにエスペランチストと会った。会ったら「ふうちゃん、背が大きくなったね」といろんな人から言われ、返事が大変だった。

会場の席に座ると、エスペランチストの話があり、予定より 20 分おくれて朗読大会が始まった。おくれて始まったから、少しイラッとした。でも、始まったときにはそれどころじゃなくて、心ぞうが「ドクドク」いっていた。

自分の番になったら、体全体がふるえて読み終わるまで止まらなかった。きんちょうしすぎて、紙しか見ていなかった。発表したほかの二人は、顔をあげていてすごいと思った。

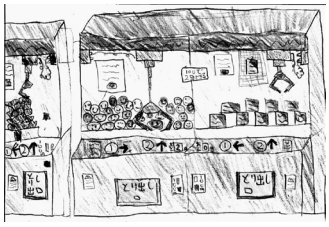
その後、食事会に行った。そのとき、おなかが痛くなってトイレに行った。トイレが 2 階で、階段をあがるときお腹が痛くて死にそうだったのに、「発表よかったよ」「感動したよ」とか言われて、なかなか前に進めずけっこうつらかった。

UFO キャッチャー

あやき

ぼくは、水曜日にゲーセンにいきました。ぼくは、すごくとりやすそうな UFO キャッチャーを発見しました。それは、ウルトラマンのキャンデーでした。ちょっと、説明するのがむずかしいので図で説明します。

しかも、キャッチャーのアームが小さいので、力があるのでかんぺきにとれます。でも、お金がもったいなかったので、1 回しかしませんでした。



《プロジェクト紹介》

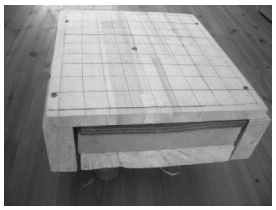
しょうぎばん

がくほ

4 月からしょうぎばん作りを始めました。やった理由は、早く足つきしょうぎばんがほしかったからです。

作っていておもしろかったところは、ねじを入れるところでした。うまくできなかったところは、足のちょうせつのところでした。

木がかたかったりしたのでたいへんでした。木のふしのところを切るのがたいへんでした。



エプロン

さくら

作った理由は、自分で使うものを作ってみたかったからです。

むずしかったところは、ミシンを使うところです。きじを切るのもむずかしかったです。

たのしかったのは、首をかけるところを作るところです。

エプロンをつくるのは、すごくむずかしかったけどたのしかったです。

できてすごくうれしいです。

《卒業生からのメッセージ》

私はやっぱり歌う方が好き

しょうこ（2008 年度卒業生）

私は今音楽に夢中になっています。特に歌うのが大好きです。

私は 5 年生から 2 年間わくわくに通っていました。入学した頃は音楽が大嫌いで、毎日手芸ばかりしていました。その頃はテディベアを作ることに夢中で、何体も作りました。今でも家のあちこちに座っています。

勉強は全くできなくて、漢字なんて絵本で勉強をしていました。そんな生活を 1 年続けて 6 年生になった頃、私は川嶋あいという歌手に出会いました。川嶋あいの曲は詩がとても良くて、今でも大好きです。それから私は音楽が好きになっていきました。わくわくでも歌ったり、ピアノを弾いたりするようになりました。

今は合唱団に入ったり、学校では吹奏楽部に入っています。合唱団では歌詞に意味がある曲ばかり歌っているので、お客さんに気持ちを伝えるように歌います。「感動した」と言われたときは本当に嬉しいです。吹奏楽も楽しいですが、私はやっぱり歌う方が好きです。

これからもどんどん歌っていきます♪

選択プログラム " 英語 " について

子どもたちは食べ物や動物の名前、スポーツなど身近な英語の単語をたくさん知っています。また、テレビや映画、本などを通して外国に興味をもっている子が多くいます。英語は世界の人々とコミュニケーションをとるための言語のひとつです。日本語にはない音、リズム、イントネーションも歌やチャンツ（リズミカルに唱える言葉遊び）を何度も聞き、くりかえしまねをして自然と身につけていきます。

あいさつをしたり、質問のやりとりをしたり、お礼を言ったりをチャンク（文のかたまり）として何度もくり返し、やがて自分の言葉として使っていくようになります。英語を通して外国に興味、関心を広げ、自分とは違う考えや異文化を受けとめ尊重し、すすんでコミュニケーションをとろうとする姿勢を身につけます。（芳仲ま）

NPO 法人箕面こどもの森学園の事業活動　４月～８月

2011 年度通常総会報告

ＮＰＯ法人箕面こどもの森学園の 2011 年度通常総会を 5 月 8 日に開催しました。正会員 72 名中、当日出席者 16 名、委任状出席者 40 名でした。

学校の運営、学習者中心の教育方法の研究と開発、地域における子どもの健全育成の活動などについての 2010 年度の事業報告と収支決算報告、2011 年度の事業計画と収支予算計画が満場一致で可決・承認されました。欠員の監事の補充については、近藤智さんの就任が承認されました。

総会の後は、恒例となっている焼き肉パーティーを校庭でおこない、会員とその家族十数名が、美味しい食べ物と飲み物を片手に語り合い、夜遅くまで盛り上がりました。（増田）

“夏の学校”を開きました

毎年 7 月から８月にかけての４日間、サマースクールを開いていました。今年はやり方を変えて、親子で参加する“夏の学校”としました。開催日は 7 月 29 日、30 日の２日間でした。

1 日目。はじめはみんな少し緊張気味でしたが、アイスブレーキングのゲームで笑顔に。最初の「ことば・かず」は、自分のペースで学ぶ個別学習。その次の「アイスクリーム作り」は協同学習。「あのなあ～」と話も弾んだお弁当。午後からは「木工」で、自由な創作活動。

2 日目。「早く始めよぉ～」と朝からリラックスムード。ことば･かず、ものづくり、クッキングのそれぞれの時間、みんなはフル回転。

この日は保護者も参加。自己紹介でいろんな思いを共有して打ち解けた雰囲気に。校舎見学の後、本校の教育方針を説明。お弁当の時間にもいろんなお話が出てきました。午後は子どもに戻って作品づくり。「こんな時間、日頃なかなかとれないので、とても楽しかったです！」との感想をいただきました。（平嶋）

おるたネットフォーラム in 関西の共催

８月６日、大阪市東淀川区の「市民交流センターひがしよどがわ」で、当学園も共催している「おるたネットフォーラム in 関西 2011」が行なわれました。土曜の夕方の開催にもかかわらず、40 人を越える参加者がありました。

このフォーラムでは、聖心女子大学の永田佳之さんに「これからの教育・未来の学校～多様な教育の現状と国際的展望」というお話をしていただきました。3.11 の意味するものからお話が始まり、多様なオルタナティブな教育の可能性と方向性、分岐点に生きる私たち、日本のオルタナティブ教育の今後など話題が満載で、予定の時間をだいぶ超過するほどの熱演でした。この講演の様子は U-stream に流していますので、ぜひご覧ください。http://www.ustream.tv/recorded/16467420、http://www.ustream.tv/recorded/16469116　（辻）

講演中の永田佳之さん

森のようちえんの活動（4月～8月）

毎月第 3 土曜日に、自然の中で親子でおもいっきり遊んでいます。

4 月は、こどもの森学園の近くにある吹田市自然体験交流センターの竹林で自然保護活動と、たき火をしました。5 月は、写真家で画家の谷上裕二さんを講師に招いて、箕面の山の中にある桜広場で「ネイチャーゲーム」などをしました。

6 月は、自然体験交流センターで玉葱の皮を使った草木染めをしました。7 月は、5 月に続いて谷上さんにも参加していただき、箕面川の水生動植物の観察をしました。8 月は、教学の森野外活動センターで 1 泊 2 日のキャンプをして、バーベキューをしたり、テントを張って寝たり、流しそうめんなどをしました。活動の詳しい内容については、以下のブログをご覧下さい。http://moriasobi.blog.fc2.com　（増田）

“こどもの森講座”第 1 回の開講

6 月 2 日に森のサンルームで、こどもの森講座シリーズ第 1 回の「フレネ教育を感じよう！」が開かれました。参加者は 5 名、講師は本校理事の芳仲猛さん。自己紹介の後、フランスのフレネ学校製作の DVD「レヴェイユポエティック」（詩的目覚め）を見ました。

参加者が感想や質問を出し合う中で、フレネ教育と他のオルターナティブ教育（シュタイナー教育やモンテッソーリ教育など）との違いが明確になっていきました。子どもにとって理想的と思われる環境を大人が用意するのではなく、子ども一人ひとりの生活に根差したところから出発するのがフレネ教育の特徴です。最後に、フレネの経歴や自由テクストなど、フレネ技術の基本的なことがらについて学びました。

フレネ教育研究会からの見学

8 月 6 日から 3 日間、フレネ教育研究会の夏季全国セミナーが滋賀県大津市で開催されました。フレネ教育研究会はフレネ教育の普及のために活動している教育者たちの団体です。

そのセミナーの最終日に、15 名の方がバスをチャーターして本校の見学に来られました。

まず、ホールで辻学園長からビデオやスライドによる、本校の沿革や現状についての説明がありました。その後、2 グループに分かれて校内見学が行われました。現職の先生方が多いので、子どもたちの作品や教材等を詳しく見ておられました。見学の後、４人の方が新たに本学園の賛助会員になってくださいました。（芳仲た）

NPO 法人箕面こどもの森学園の活動にご支援を！

箕面こどもの森学園のさらなる発展のために、ご支援いただける方は、次のいずれかの方法でご協力願います。

◆正会員になる　（年度会費 6,000 円）
◆賛助会員になる（年度会費 3,000 円）
◆資金・資材を寄付する
◆情報・労力を提供する

振込先：加入者　NPO 法人箕面こどもの森学園
〈郵便払込〉００９８０-7-２３２４０３
〈郵便口座振込〉１４０２０-６８１９０７２１
〈銀行振込〉
ゆうちょ銀行四〇八支店（普）６８１９０７２
池田泉州銀行小野原支店（普）７２２５８

※会員になられる方には入会申込書と払込用紙をお送りしますので、下記にご連絡ください。
TEL&FAX 072-735-7676　kodomomori@nifty.com

雑感　少人数学校もわるくない

この学校のことでよく聞かれる質問に、「少人数の学校だから子どもたちの交友の範囲が狭くなるのでは？」とか、「公立学校では生徒の人数が多いので、いろいろなタイプの子がいて切磋琢磨できるのに、ここではそれができないのでは？」、「ずっーと一緒の人間関係が続くと、刺激が少なくて意欲の乏しい子どもになるのでは？」などがあります。

「子どもの交友の範囲が狭くなる」ということですが、公立学校に行っている子どもでも休み時間や放課後にいっしょに遊ぶ子の数は２～３人くらいで、それほど多くはありません。ただ、仲のよい子を選べる範囲が公立学校の方が広いということでしょう。

こどもの森では同年齢の人数は少ないですが、年齢の違った子ともいっしょに遊ぶので、遊ぶ人数が少ないわけではありません。むしろ、昔、地域でみられた異年齢集団の遊びのよさがあります。小さい子はハンディキャップを付けてもらって遊んだり、小さい子が大きい子の真似をしているうちに、コツを体得して難しいことができるようになるなど、学びと成長のチャンスが多いのです。

学校は、子どもが他人とのよい人間関係のもち方を学ぶ場ですから、友だちの選択可能性の多さよりも、コミュニケーションの質のよさをもっと重視すべきだと思います。

自分の考えを相手に言えるだけでなく、相手の話もちゃんと聴ける相互的な関係ができていることが質のよいコミュニケーションの基盤になります。そして、相手の立場に立ってものごとが考えられるようになると、他人とよい関係が結べます。果たして、そうした経験を積むための時間と場所がどれだけ今の学校生活の中で確保されているでしょうか？

生徒の数の多少ではなくて、そのような時間の多少を学校選びの基準にすべきではないでしょうか。（辻　正矩）

こんな学校に出会いたかった！！
♪♪ 箕面こどもの森学園 生徒募集 ♪♪

子どもたちの主体的な学びを支援するオルタナティブ・スクールです。子どもの興味関心を学習の中心にすえ、子ども自身の生活から学習を組み立てるフレネ教育の考えと方法を取り入れています。

募集人数：10 名程度（新 1 年生 5 名程度）
対象年齢：6～11 歳（小学 5 年生まで）
場　所：箕面市小野原西 6 丁目 15 － 31
見　学：随時（ご相談の上で日程を決めます）
体験入学：見学の後、学校の平常の授業を 5 日間体験していただきます。
入学面接：ご相談の上で日程を決めます。
問合せ先：072-735-7676
※見学、入学ご希望の方はご連絡ください。

アクセス：阪急北千里駅から徒歩 15 分。

各種イベントのお知らせ　9月～12月

こどもの森講座 第２回
「体感！箕面こどもの森学園」

子ども一人ひとりの学びが大切にされ、子どもがいきいきと育つ小学校。そんな箕面こどもの森学園の模擬授業を大人の方に体験していただける３回シリーズのプログラムをご用意しました。どうぞ、子どもの頃にもどった気分でご参加ください。

第２回　「自由作文を書いてみよう！」
日　時：10 月 17 日（月）10 時から 12 時
場　所：箕面こどもの森学園森のサンルーム
講　師：藤田　美保（こどもの森学園校長）
参加費：1000 円（こどもの森会員 800 円）
定　員：１０名（３名以上で開講します）
申込方法：10 月 14 日（金）までに、電話または FAX でお申込み下さい。
問合せ・申込先：箕面こどもの森学園事務局
（TEL&FAX 072-735-7676）

オープンスクール（11 月）と無料体験週間（12 月）を行います

一斉授業とも詰込み授業とも違う、子どもの可能性を拓く新しい教育にふれる貴重な機会です。こどもの森の教育にご関心のある方はぜひご参加ください。お子さまは授業体験もできます。

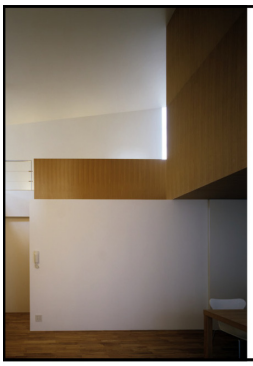
『オープンスクール』11 月 12 日（土）
授業参観コース（大人対象）：定員 30 名
授業体験コース（年長児～小学５年生までの方対象）：定員 15 名
『無料体験週間』12 月５日～９日の中の１日
年長児～小学５年生までの方対象
参加費：無料（事前申込みが必要）
申込期限：３日前までに電話または FAX で、箕面こどもの森学園事務局へお申込みください。

****

♪ロハス in こどもの森・秋フェスタ♪
～しぜんとくらし～

今年の秋もロハス・フェスタを開きます。
日時：10 月 15 日（土）10:00 ～ 15:00
場所：箕面こどもの森学園
参加費：無料
イベント：絵本らいぶ、箕面の自然写真展、太陽光発電の話、サバイバル・クッキング、青空ヨーガなど
出店：フェアトレード雑貨、手づくり革小物、玄米菜食ランチ、新鮮野菜販売、牛肉鉄板焼
主催：ロハス in こどもの森実行委員会

関西よつ葉連絡会
お届けするのは、作る人の想いと安心な食品です
（株）産地直送センター
〒 562-0034 大阪府箕面市西宿 2－15－6
フリーダイヤル　0120-30-4280
産直ショップ小野原店　072-729-7800



子どもたちに豊かな空間を ― 建築設計
株式会社 髙砂建築事務所
大阪府茨木市中穂積 2-6-22
TEL 072-623-0136
http://www.takasago.co.jp
info@takasago.co.jp